

校長だより【72】本校ア二漫研が「まんが甲子園」予選通過！ 030622



本校のアニメーション漫画研究部がやってくれました！ 1年生部員の5人が、高知県まんが王国土佐推進課主催の『**第30回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）**』への出場を決めたのです！

予選会 178校から国内 37校、海外 3校が選出され、本校ア二漫研の**全国大会への初出場が決定**しました。12年前と5年前にも挑戦したそうですが、惜しくも予選敗退だったとのことですから、今回の本選出場は快挙と言えます。

本選は、8月6日～8日の3日間、今年はコロナ禍のために、オンライン開催です。（例年は高知県で行われます。）応援宜しくをお願いします。

まんが甲子園とは？（下記リンクのHPより）

1992年に始まった、全国の高校生を対象としたまんがの大会。参加生徒は「高校ペン児」の愛称で呼ばれ、**出題されたテーマに沿って5人一組で1枚の紙に「まんが」を描く。**

チームで予選、1次競技、敗者復活戦を勝ち抜き、決勝戦で最優秀賞を決定。最優秀校はクラブ助成金や、画材などの副賞を与えられ、その年の全国1位という名誉が得られる。

まんが甲子園の最大の特徴は、作品が「1枚」であること。予選を勝ち抜いたペン児は、毎年8月に行われる本選大会（高知市）に集結し、**B2大のパネルを使い、自由にテーマを表現**する。

また、近年では、出版社によるスカウト制度も導入。新人漫画家の発掘にも力を入れ、デビューへの新たな登竜門となっている。数ある「〇〇甲子園」の元祖でもあり、本年度第30回大会を迎える。毎年、全国から約300校が参加する、とても大きな大会なのだ。

[作品データベース](#) | [まんが甲子園](#) | [まんが王国・土佐 \(mangaoukoku-tosajp\)](#)

こちらが見事予選を通過した本校の作品。テーマは「在宅〇〇」でした。



「在宅ムシ」

イソップ童話の「アリとキリギリス」をモチーフにしています。無視する虫たちと在宅勤務する虫たちを使って、コロナ禍の私達「人間」の行動を考えさせる素晴らしい作品です。漫画はそもそも、新聞紙上で、世相や政治に物申す「風刺画」から始まった文化ですから、その意味でも秀逸な作品だと思います。

8月の本選では、事前に示される5つのテーマから当日いずれかが指定されます。約5時間の制限時間内にB2サイズを5人で作画し、第1次競技、敗者復活戦、決勝戦とオンラインライブで中継、審査されます。

すごいことになってきました！ 本校の5人の「高校ペン見」の皆さん（内山さん、福留さん、久間さん、相原さん、一条さん）、どんなお題が来ても、5人で力を合わせ、ぜひ大いに楽しんでください。

厚木東でア二研が挑戦！ とっても楽しみです。



弓道場横の巨大キノコは毎年出てきます。(6月7日撮影)